

進路だより

令和3年 4月30日
都立中野特別支援学校
第1号
校長 和田 慎也
担当 小田原 紀子

【専任より】

昨年度に引き続き、今年度も進路指導専任を担当することになりました。昨年度は、新型コロナウイルスの影響により、様々な進路行事が中止や延期となりました。これらの状況は、今後も続くことが予想されます。私たちは、「ウィズコロナ」に対応していかなければなりません。そんな中、昨年度はオンライン進路研修会を実施いたしました。今後も、「ウィズコロナ」を想定した取り組みを考えていきたいと思っております。保護者の皆様には、御協力をお願いいたします。

◆「真新しい」に込めた想い

新年度が始まりました。「真新しい」少し大きめの制服、「真新しい」靴やカバンを身につけた新入生が登校してきました。彼らは、これから始まる学校生活に、大きな期待とやる気に満ち溢れていることでしょう。

この春に卒業した卒業生も同じです。4月から、彼らは社会人としての生活を送っています。先日、そんな卒業生の職場定着支援に行ってきました。私の訪問に気づくと、少し照れた表情で業務に集中する卒業生。

「真新しい」仕事着を身にまとった卒業生は、4月から始まった社会人としての生活に、大きな期待とやる気に満ち溢れているように感じました。

新たな門出を迎えた新入生と卒業生。彼らを支える皆様で応援しましょう。(田邊 大樹)

【専任より】

今年度も、進路指導専任をさせていただきます吉田拓史です。どうぞよろしくお願いいたします。新型コロナウイルスの影響で、学校行事が縮小や中止となっております。その中においても、前向きにできることに取り組んでいきたいと思っております。どうぞ御協力よろしくお願いいたします。

◆「ありがとう」という言葉

「ありがとう」という言葉には、とてもすてきな力があると思いませんか？

私は、「ありがとう」という言葉が大好きです。

社会人になった卒業生は、自分の作業工賃や給料で好きな物を買っているとき、とても幸せそうにしています。しかし、一番良い顔をしているときは、施設や職場の人から、「ありがとう」と言われているときです。「ありがとう」という言葉は、自分で言うことはできますが、人から言われることは中々難しいものです。それだけに、人からの「ありがとう」は、彼らを笑顔にさせます。

保護者の皆様にお礼があります。日常生活において、彼らが「ありがとう」と言われる場面を、意図的に作ってほしいと思っております。その経験の積み重ねが、人のためになること、ひいては職業観につながります。ぜひ、年度が変わったこの時期に始めてみてください。(吉田 拓史)

【本年度の進路指導部体制】

進路指導主任：田邊 大樹（専任兼務）
進路指導専任：吉田 拓史
高等部3年生：本橋 剛、江川 拓郎
高等部2年生：和泉 悠太、岸 真美
高等部1年生：黒澤 亮、宗形 秀人
中学部：伊達 恵子、大谷 美佐穂
小学部：小田原 紀子

【令和2年度進路状況】

<進路状況>

企業	就労移行	継続A型	継続B型	生活介護	その他	合計
11	1	1	9	9	2	33

【本年度の進路研修会】

今年度の保護者向け進路研修会の予定です。

◎第1回進路研修会（各区より情報提供）

6月 8日（火）渋谷区

6月 9日（水）中野区

6月16日（水）新宿区

6月23日（水）杉並区

◎第2回進路研修会（企業就労や働く力）

12月 3日（金）

◎第3回進路研修会（暮らしや生活支援）

2月28日（月）

○中学部保護者向け進路研修会

11月12日（金）